

いつ・どこでカードをつくったら、
カードをならべかえてあそぼう。



ひるま	ゆうがた	あさ	よる
こどもが	おかあさんが	おとうさんが	せんせいが
こうえんで	チンで	せんめんしよで	みちで
ボールを	ケーキを	かおを	いぬの うんちを
けった。	やいた。	あらった。	ふんづけた。

別カードで行うこと



いちばん おもしろかったのを
えにつき みたいにかいて みよう。

どうした？

なにを？

どこで？

だれが？

いつ？

別用紙で行うこと

えにかこう。

1) いつどこでカードを見せ、切ってカードを作る。
2) シヤツフルして遊ぶ、偶然できた文を楽しむ。
3) 最も興味のついた文を選び、その情景を絵日記風に書く。
4) 虚構の世界に拒絶反応を示す場合は柔軟に対応。

a) いつ・どこで・だれが・なにを・どうしたの文章識。
b) 明詞の適切な使用。
c) 文字を書き終る体験。
d) 偶然が生んだナンセンスな成り行きが子どもを動機づけ、こころあがたまを柔軟にする。